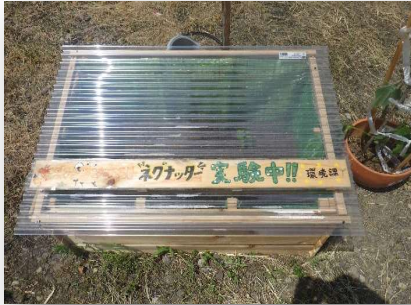


生ごみコンポストの作り方と使い方



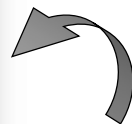
本体のサイズ（外寸） ※4人用と想定して作成したサイズ
幅：約120cm×奥行：約60cm×高さ：（前）約40cm（後）50cm
屋根（フタ）サイズ
幅：約128cm×奥行：約70cm

●作り方

- ・長方形の木箱→処理したい生ごみの量によって大きさはさまざま。
↓今回はすのこを使用↓
- ・風通しの良い箱形のを製作。



- ・前面と後ろの面は10cmほどの高低差をつけ、屋根（フタ）に傾斜をつける。



横から見ると風通しのすき間がある。

- ・本体の劣化を防ぐため、屋根（フタ）は本体より少し大きめにする。
- ・屋根は日光を通す透明な耐久性ポリカーボネート波板で作る。
（雨水をさえぎり、内部の空気と土（基材）をあたためるため）※基材は土、竹チップなど。
- ・本体と屋根（フタ）を蝶番で合わせて完成！そのあと、土や竹チップを約8分目まで入れて準備完了。



●設置に適した場所

- ・庭や畑の日当たりと水はけ、風通しの良い場所
(日陰や風通しのない場所では、分解が遅くなったり虫が発生しやすい)

●使い方の一例

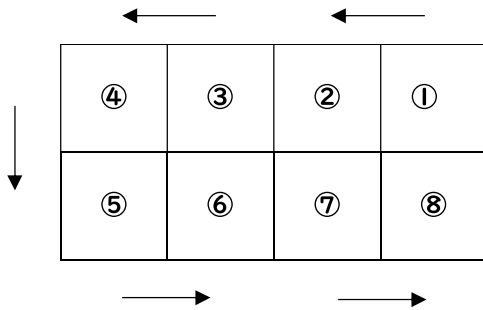
1. 深さ約 20 cmの穴を掘る。



2. 生ごみを投入、土とよくかき混ぜる。
3. 乾いた土を被せる。

※生ごみが表面に出ないようにする。表面に出ているとにおいがして虫の発生原因になるため

4. 埋める場所を変えながら生ごみを入れる。



場所を順番に入れていくことで、連続で生ごみを入れるときでも効率的に分解させることができる。